

# バレエ教室における 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

令和2年6月8日更新  
公益社団法人日本バレエ協会

## 1 序

新型コロナ・ウイルス感染拡大が一応の収束方向にあるとは言え秋口の再流行の可能性も囁かれています。昨今、活動自粛・自主休業の要請を受けた全国のバレエ教室主宰者の皆様は、この期間、生徒たちの為に何ができるか、何をなすべきかを問いながら、また地域の芸術文化の担い手としての役割と責務を考えながら日々お過ごししておられた事と拝察いたします。

今般の緊急事態宣言解除は、あくまでも引き続き感染予防策を講ずることを前提としているとは申せ、とりわけ幼・小・中・高等学校、更にはその上の学術・職能専門教育機関への通学も制限されていた青少年世代にとっては学校と同時に習い事教習所の再開は、何よりも心待ちに臨んでいた事と思います。

しかしながらバレエ教室の再開については、宿命的に「3密」状態にならざるを得ないバレエのレッスンに於いては、感染予防に対して最大限の対策を実施することが前提条件として不可欠である事に変わりなく、ここに文字通り「導線」としてご提案するガイドラインは、国や地方自治体の方針を踏まえ、バレエ教室の活動再開に向けて実施すべき基本的事項を整理したものです。

勿論皆様の主宰するバレエ教室には運営形態や施設の規模など多様な違いがあり、一様にここでのご提案が実施できる環境にあるとは限らず、また直ちに対応・実施することは難しい事柄も含まれているかもしれません。

従いまして以下のご提案が再開の必須条件ではありませんし、残念ながら全てを実施したところで感染が100%防げるという確証もございませんが、より感染予防効果を高めるための推奨事項として、再開の参考にしていただければと存じます。

## 2 本ガイドラインの概要

本ガイドラインは、本年3月以降、新型コロナ・ウイルス病禍に対し政府、或いは政府招集による専門家会議等で示された基本方針や提言（「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」、「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」等）に基づき、概ねそれらに準拠した上でバレエ教室特有の状況を勘案して「緊急事態宣言」解除後の皆様の稽古場再開の

参考に供するために作成されております。

従いましてオンライン・レッスンを推奨するといった様な新規感染者が増加・感染まん延している「緊急事態宣言」期間中の様な状況は想定致しておりません。

尚、所謂「発表会」等、生徒以外の公衆の参加をみる公演に類する活動については本ガイドラインの示すところではございません。＜そちらについては主に公立文化施設協会等による劇場再開に関するガイドラインをご参考にされることをお勧め致します。＞

## 【バレエ教室における感染症予防対策の実践例】

### 3、バレエ教室再開に向けてのガイドライン

前提

#### (1) 一人ひとりの基礎的感染対策（全般）

以下に示すガイドラインはバレエの教授業の立場からのガイドラインであり、基本はあくまでも国や教室が所在する都道府県、市町村からの通知・要請遵守が最優先となります。

また学校等の休業状況を斟酌する等、総合的に判断して感染拡大状況の各段階に応じた適切な対応をとって下さい。

#### 感染防止の3つの基本

##### ① 身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗い・消毒

- ・人との間隔はできるだけ2m(最低1m)空ける。
- ・会話をする際は可能な限り真正面を避ける。
- ・外出時は症状がなくてもマスクを着用する。
- ・家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える。シャワーも浴びる。
- ・手洗いは30秒程度かけて水と石鹸で丁寧に洗う。(手指消毒液の使用も可)

#### 移動に関する感染対策

- ・感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- ・帰省や旅行は控えめに。
- ・発症した時の為、誰とどこで濃厚接触的に会ったかをメモにする。
- ・地域の感染状況に注意する。

## (2) バレエ教室としての対策（教室主宰者側）

- ・入口に消毒用薬液を常備し、生徒・教師共に入室時には必ず手指の消毒を習慣付ける。
- ・生徒の入室時に検温を行う。また生徒父母とは生徒の体調に関して必要に応じて確認する。
- ・入口のドアノブ、バーは頻繁に消毒液で塗布する。
- ・室内の換気を頻繁に行う。
- ・更衣室やトイレ、また更衣室の棚・備品等は生徒の入退室ごとに消毒を行う。
- ・生徒以外の保護者付添いの入室を原則的に禁止する。
- ・各クラスの間に対策ができるよう、レッスン時間・タイムスケジュールを考慮する。
- ・更衣室の広さに応じて入室人数を決め、教師が入室制限を行う。

## (3) バレエ教室としての対策（教室生徒側）

- ・本人は勿論、同居人に熱や風邪症状がある場合は必ず稽古を休む。
- ・呼吸困難、熱中症が発症しないと思われる範囲でマスクを着用して受講。（夏用スポーツ専用マスクなども販売されています）
- ・水筒、ペットボトルなどを用意して頻繁に水分を補給する事。
- ・友人・姉妹間での稽古着やシューズ、タオル類の貸し借りは行わない。
- ・咳やくしゃみが出そうになったら稽古を中断してタオルで顔を覆う。
- ・来校時間・入室時間は教室の決めた時間に従い、教室が「密」状態になるのを避ける。
- ・稽古着は毎回選択済のものを着用する事。

## (4) レッスンでの対策（教室教師側）

- ・原則マスク着用で指導。生徒に余り顔を近づけず大声で叫ばない。
- ・バー・レッスンの位置取りに注意し、最低限の間隔をあける。また向かいあわせでのバー使用は極力避ける。
- ・センター・レッスンでは順番待ちの生徒が密にならないよう間隔を空けて待機させる。

万が一、感染者が教室関係者に発生してしまった場合は直ちに地区行政の支持に従って対処を行って下さい。